

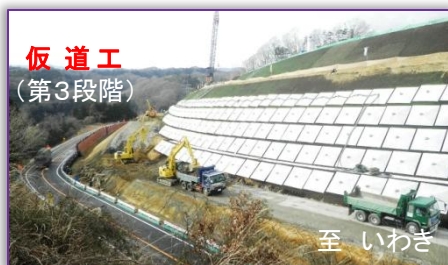
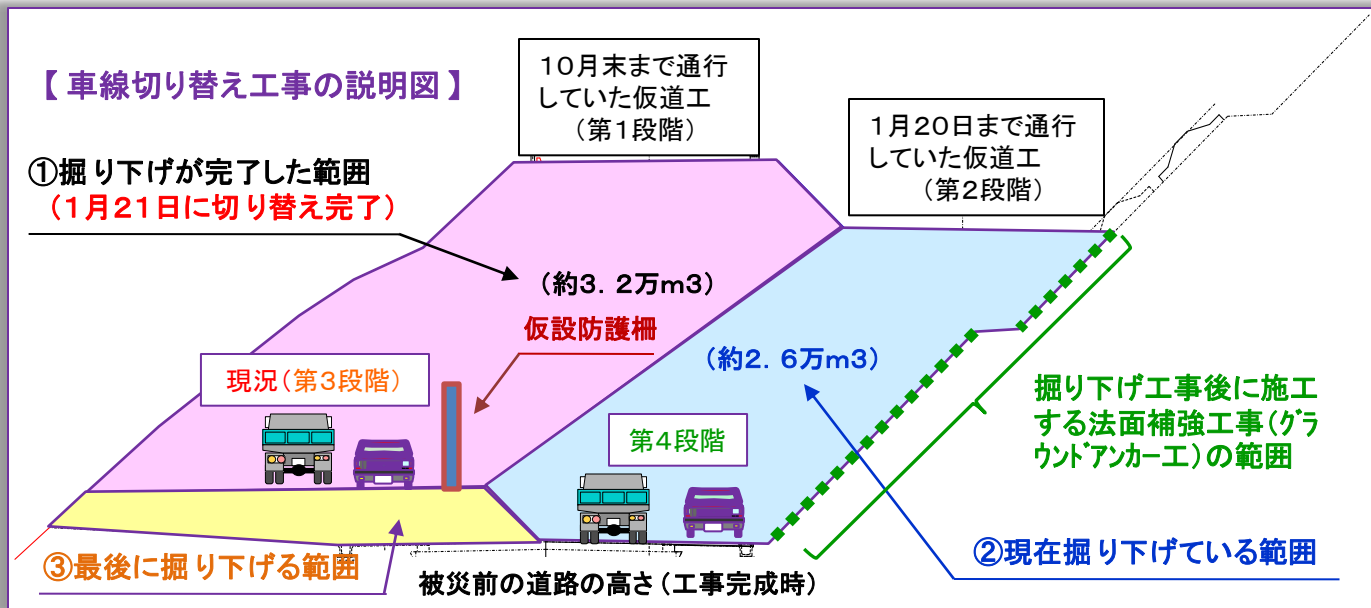
いわき石川線 大規模地すべり災害復旧工事 最新情報

1. 「第3段階」への車線切り替え工事が完了しました！（上釜戸工区）

昨年10月以降、第3段階へ車線切り替えするための仮道工（説明図内①の範囲）の掘り下げ工事を行ってきましたが、1月21日に無事完了しました。第1段階で使用していた仮道工は縦断勾配が最大で11%あり、カーブもきつい区間がありましたが、切り替え後の仮道工は縦断勾配が最大3%でカーブもゆるくすることができました。

現在、第4段階へ移行するための仮道工（説明図内②の範囲）の掘り下げ工事と法面補強工事（グラウンドアンカー工）を行っています。

1月末までに約16万m³の土砂除去を完了させ小名浜港へ運搬する予定です。その内、約15万m³の土砂は船で東港に運搬済みです。



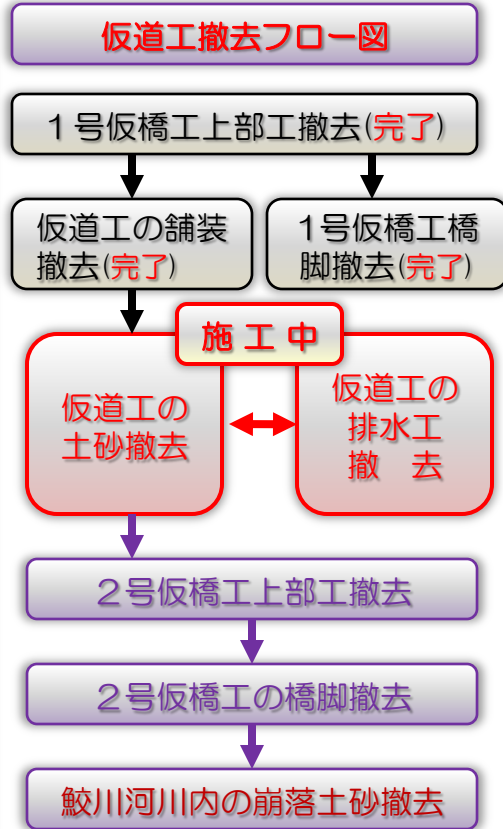
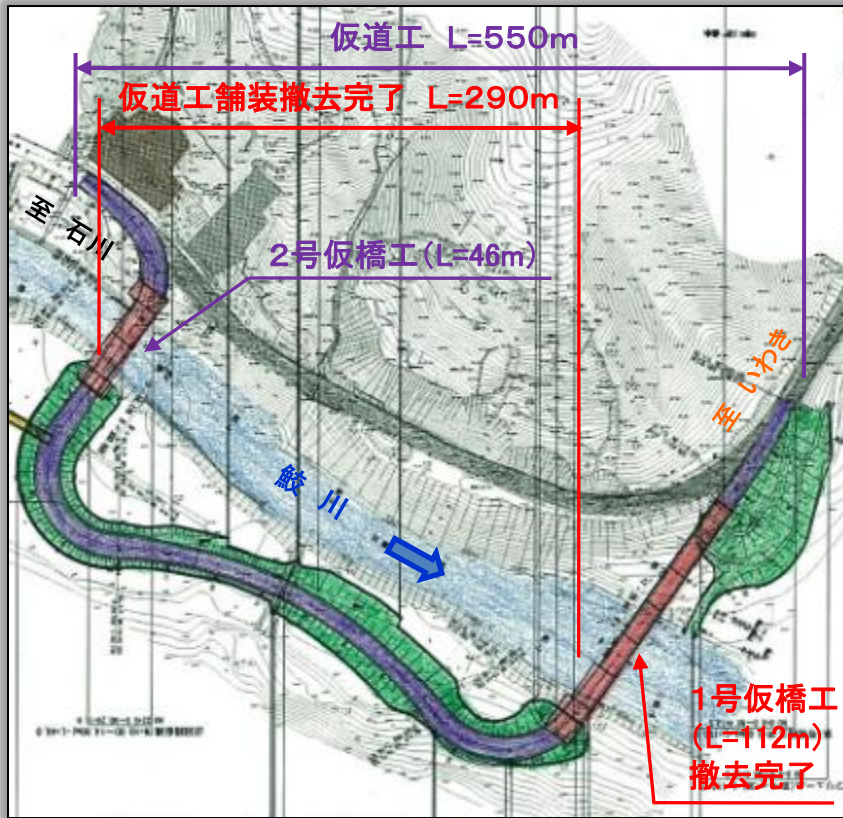
起点側

中間点

終点側

2. 「1号仮橋工」の撤去工事が完了しました！（才鉢工区）

本線を再開通させた翌日から仮道工（L=550m）の撤去工事に着手し、1月24日に1号仮橋工（L=112m）の撤去工事が完了しました。現在、仮道工全体の撤去工事を行っております。その後2号仮橋工の撤去工時に着手します。



3. 「現地視察会」が開催されました。

1月29日に上釜戸工区と才鉢工区において、県南建設事務所と白河市役所の技術者の皆様約20名が参加して現地視察会が開催されました。天候にも恵まれ有意義な視察会となりました。現地視察を希望される方がおられましたら事務担当まで御連絡ください。可能な限り対応させていただきます。



上釜戸工区の視察状況



才鉢工区の視察状況

4. 「地盤工学フォーラム2012」に参加し上釜戸工区の発表を行いました。

1月18日に仙台市で開催された地盤工学会主催の技術発表会に参加し、「震度6弱の地震による大規模地すべりとその対策工について」と題して上釜戸工区の発表を行いました。質疑応答では参加者から多くの質問が寄せられ活発な議論が取り交わされました。



5. 才鉢工区で施工した法面補強工事の事例紹介

法面補強工事とは、崩壊した法面の浸食や風化を防止するため、植生または構造物で法面を被覆するものです。才鉢工区において全ての法面補強工事が完了したことから、採用した工法の施工順序を工種別に紹介します。

①植生基材吹付工：法面に植物を繁茂させることにより雨水等による浸食を防止する。



法面整形工(施工中)



法面整形工(完了)



金網設置工



植生基材吹付工(施工中)



植生基材吹付工(完了)



植物の繁茂状況

②吹付砕工及び鉄筋挿入工：吹付砕工は法面表層部の崩落や岩盤のはく落を防止することを目的としており、表層崩壊が起こりやすい法面勾配の箇所には吹付砕工の上から鉄筋挿入を行っている。



法面整形工施工状況



吹付砕組立状況



吹付砕工施工状況



削孔状況



鉄筋挿入工施工状況



吹付砕工(完了)

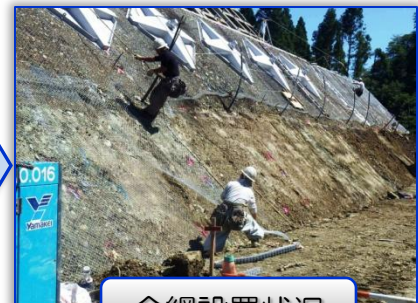
③グラウンドアンカー工：すべり土塊の滑動力に対抗して法面の崩壊を防止する。才鉢工区は作業ヤードが狭く、受圧板の設置作業を小型クレーンで行うことから、一般的なコンクリート受圧板に比べて軽量の鋼製受圧板を採用した。



法面整形工施工状況



アンカー孔削孔状況



金網設置状況



アンカー工緊張状況



グラウンドアンカー工(完了)



植生基材吹付工(完了)

【事務担当】

復旧・復興課 道路・橋梁復旧担当 主任主査 渡邊 敦宏 電話：0246(35)6075